



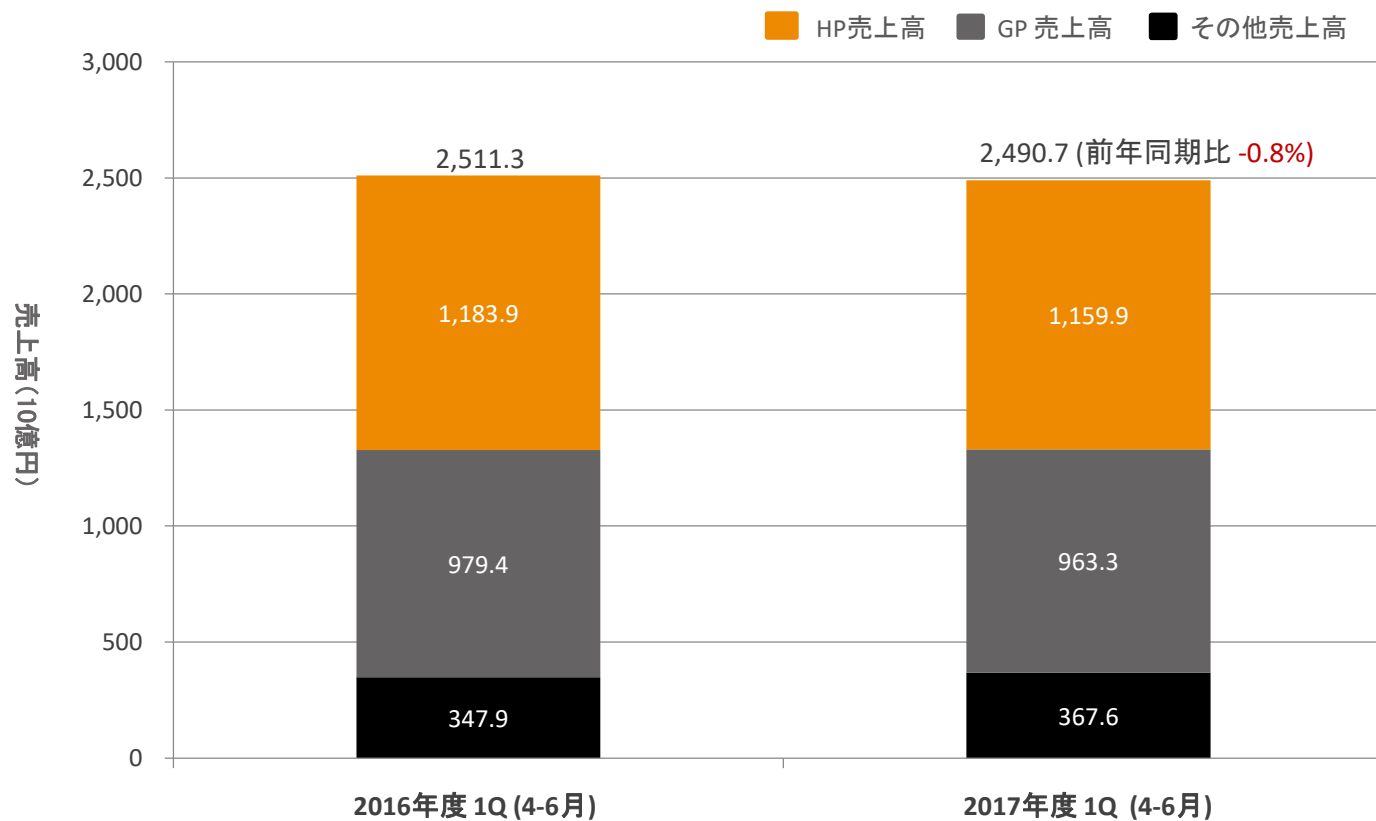
エンサイス スナップショットデータ

(薬価基準ベース)

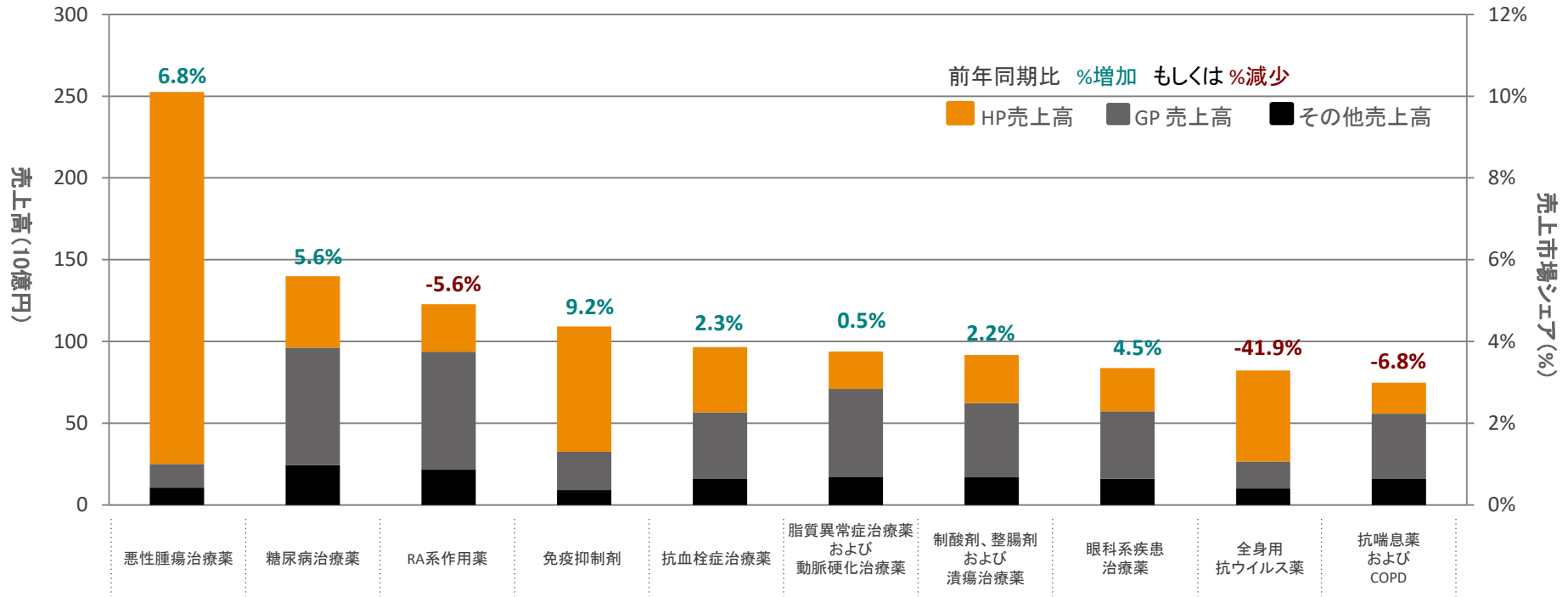
2017年度第1四半期
(2017年4月 ~ 2017年6月)

本レポートは、当社が収集した医療用医薬品に関する情報を基礎としてエンサイスリサーチセンターで加工、編集又は推計を行ったものであり、
当社は本情報の正確性、網羅性、その他本レポートが一定の内容や品質を備えることを保証するものではありません。

前年同期との比較



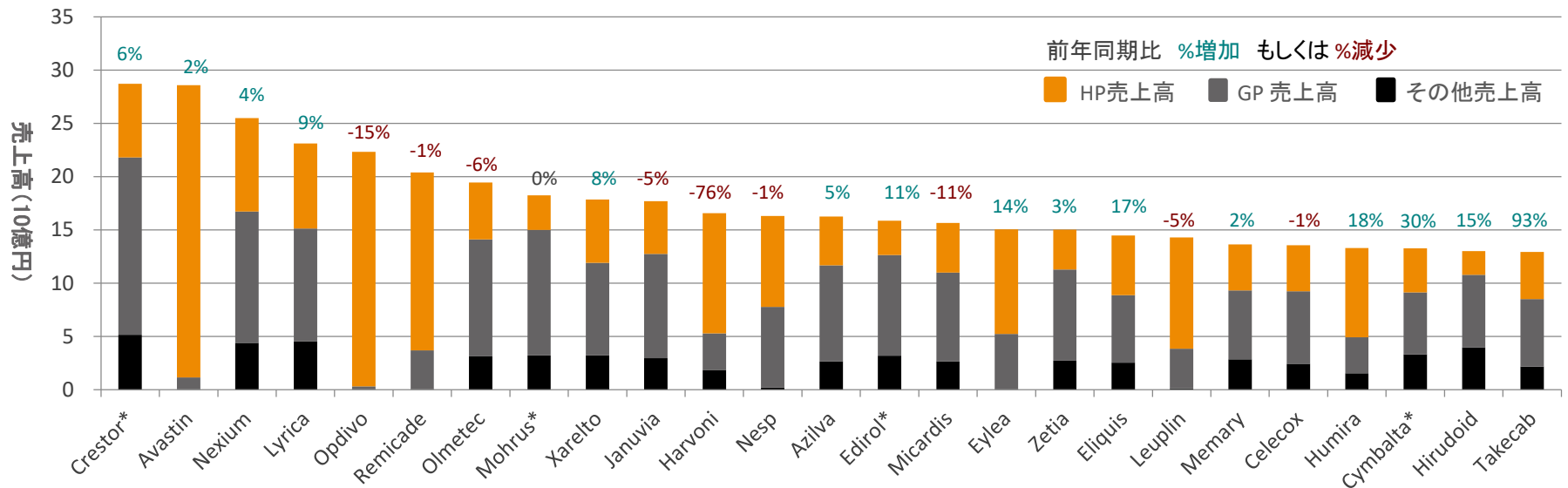
医療用医薬品売上上位10薬効分類



売上高チャネル定義: HP売上高: 100床以上の病院の院内処方と院外処方の合計 | GP売上高: 100床未満の病院や診療所の院内処方と院外処方の合計 | その他売上高: HP売上高、GP売上高以外の合計

- 上位10薬効分類の売上高が1兆1,470億円（前年同期比2.6%減）であり、医療用医薬品全体の約46%を占めている。
- **悪性腫瘍治療薬（オンコロジー）**：タグリソ（オシメルチニブ、アストラゼネカが2016年5月に上市、第1四半期売上高75億円）、キイトルーダ（ペムブロリズマブ、MSDが2017年2月に販売を開始し、第1四半期売上高63億円）、サイラムザ（ラムシルマブ、イーライリリーが販売、前年同期比74%増で第1四半期売上高110億円と堅牢に伸長）等の新薬により好調を維持しており、これらが悪性腫瘍治療薬分野の主力製品であるオプジーボ（第1四半期売上高223億円、前年同期比15%減）の売上減少分を補った。
- **抗ウイルス薬**：前年同期比42%減の主な理由は、ハーボニー（第1四半期売上高166億円、前年同期比76%減）、ソバルディ（第1四半期売上高125億円、前年同期比49%減）、ヴィキラックス（第1四半期売上高54億円、前年同期比50%減）。
- **免疫抑制剤**：レブラミド（第1四半期売上高114億円、前年同期比34.3%増）、ヒュミラ（第1四半期売上高133億円、前年同期比18%増）、シンポニー（第1四半期売上高91億円、前年同期比24%増）等の後押しされ、本分類は前年同期比9.2%の伸長。

医療用医薬品売上上位25製品

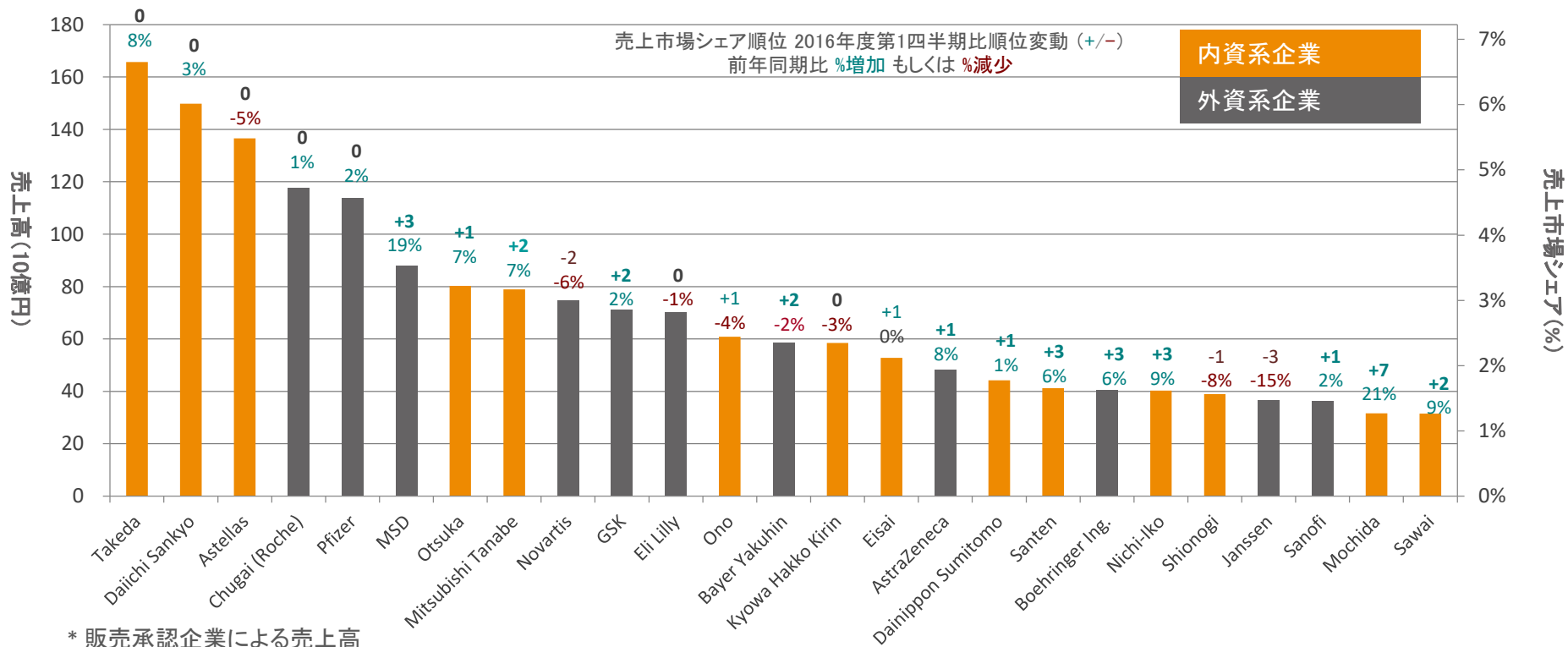


売上高チャネル定義: HP売上高: 100床以上の病院の院内処方と院外処方の合計 | GP売上高: 100床未満の病院や診療所の院内処方と院外処方の合計 | その他売上高: HP売上高、GP売上高以外の合計

* 併売企業による合計売上高

- 2017年度第1四半期において、上位25製品の売上高は4,409億円であり、全医療用医薬品売上高の17.7%を占めた。
- 同期間の上位25製品の売上高比率は2016年度第1四半期と比較して2.3ポイント減少した。主にハーボニー（前年同期比76%減）とオプジーボ（前年同期比15%減）の売上減少のためと思われる。
- 主要成長医薬品:** タケキャブ（ポノプラザン、カリウムイオン競合型アシッドブロッカー、2015年2月に武田薬品工業が上市し、前年同期比93%増と堅牢な成長により初の上位25製品入り）、サインバルタ（前年同期比30%増）、ヒュミラ（前年同期比18%増）、エリキュース（前年同期比17%増）。
- 主要鈍化医薬品:** オプジーボ（緊急薬価改定による薬価の50%引き下げ、および競合新薬キイトルーダの2017年2月上市後鈍化）、ハーボニー（特例拡大再算定後成長が鈍っている）、ミカルディス（ジェネリック医薬品の普及）。
- 2017年度第1四半期に上位25製品入りした医薬品（前年同期比）:** ヒュミラ（第1四半期売上高133億円）、サインバルタ（第1四半期売上高133億円）、ヒルドイド（第1四半期売上高130億円）、タケキャブ（第1四半期売上高129億円）。
- 2017年度第1四半期に上位25製品から外れた医薬品（前年同期比）:** ソバルディ（第1四半期売上高125億円、前年同期比49%減）、ジプレキサ（第1四半期売上高74億円、前年同期比52%減）、プラビックス（第1四半期売上高85億円、前年同期比35%減）、シングレア（第1四半期売上高67億円、前年同期比46%減）。

医療用医薬品売上上位25社*



* 販売承認企業による売上高

- 2017年度第1四半期の売上高合計は1兆7,681億円（前年同期比1.6%減）であり、国内医療用医薬品全体の売上高の71%を占めている（前年同期比0.6ポイント減）。
- 上位25社中、内資系企業と外資系企業の売上高比率は約57:43となり、内資系企業の売上高は1兆112億円（前年同期比5.4%増）、外資系企業の売上高は7,568億円（前年同期比9.62%減）。
- 持田製薬と沢井製薬がツムラとギリアドに代わり上位25社に入った。持田製薬（第1四半期売上高316億円、前年同期比21%増）は ترامセツト（第1四半期売上高71億円、前年同期比約300%増）に支えられた。沢井製薬（第1四半期売上高315億円、前年同期比約9%増）は上位25社内において、日医工（第1四半期売上高403億円、前年同期比約9%増）に次ぐ後発医薬品メーカーであり、国内の後発品市場の継続的な伸びを示している。
- ギリアド（第1四半期売上高291億円、前年同期比69%減）は、主力製品ハーボニーとソバルディの売上減少により、28位となり、上位25社から外れた。